

気軽に読める暮らしのネタ

イノス MANSLRY

INOS
Monthly



News Letter
2020.7 月
Vol.218

いよいよ梅雨入り！カビと結露を防ぐ「部屋干し」マニュアル

雨が続いてジメジメする梅雨。洗濯物を外に干しても乾きにくいいため、どうしても部屋干しが増えます。

ですが、これは室内のカビやニオイ、結露などの原因になることも。部屋干しによるカビや異臭などを防いで、さわやかに洗濯物を乾かすテクニックをご紹介します。

こんな「部屋干し」はNG！ カビや匂い、結露を防ぐコツ

部屋干しのトラブルは、ちょっとしたひと手間で減らせます。まずは以下の点に気をつけてみましょう。

■洗濯

- ・洗濯の水にお風呂の残り湯を使わない
- ・洗濯機の容量を守り、洗剤は適切かつ十分な量を入れる
- ・部屋干し用の洗剤を使う
- ・特にニオイが気になるときは、酸素系漂白剤や酢を少量入れる

洗濯機の容量に対して洗濯物が多すぎると、汚れを十分に落としきれません。また、お風呂の残り湯には雑菌がいるため、やはりニオイなどの原因になってしまいます。

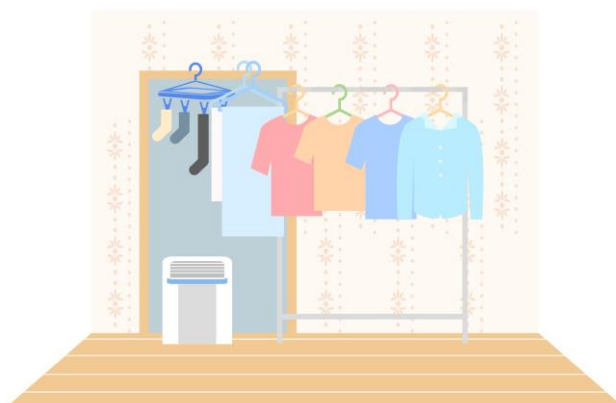
どれかひとつでも思い当たるなら、今日から改善しましょう！

■干すとき

- ・洗濯が終わったらすぐに干す
- ・できるだけ広い場所に一枚一枚しっかり広げて干す
- ・洗濯物と洗濯物の間はなるべく間を空ける
- ・部屋干し中は換気する（窓・換気扇・扇風機など）
- ・部屋の湿度が極端に高い（70%以上）場合は除湿する（除湿器・エアコンで）
- ・バスルームに除湿機能があれば、そこに干す

洗濯物が長時間濡れたままだと、せっかく洗っても雑菌が繁殖しやすくなります。また、部屋に結露ができてカビが発生しやすくなります。なるべく早く干して、早く乾かすように工夫しましょう。

干し時間を短縮するコツは「通気性」と「換気」です。これを意識しながら干し方や部屋の環境を変えてみましょう。



全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ

株式会社 創建

☎0564-62-7700